

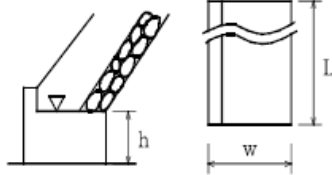
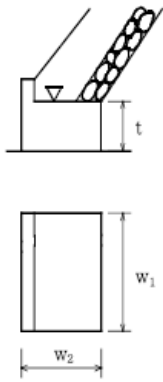
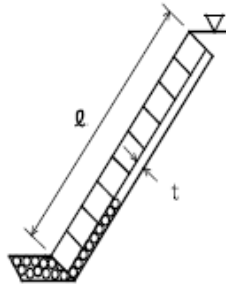
出来形管理基準及び規格値 第7編 河川海岸編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	5 護岸 基礎工	5		場所打コンクリート工	基 準 高 ∇	● ± 30	
						幅 w	● -30	
						高 さ h	● -30	
						延 長 L	$\triangle -200$	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	5 護岸 基礎工	6		海岸コンクリートブ ロック工	基 準 高 ∇	● ± 50	
						ブロック厚 t	● -20	
						ブロック縦幅 w_1 ブロック横幅 w_2	$\triangle -20$	
						延 長 L	$\triangle -200$	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	6 護岸 工	4		海岸コンクリートブ ロック工	基 準 高 ∇	● ± 50	
						法 長 ℓ	$\ell < 5\text{m}$	$\triangle -100$
							$\ell \geq 5\text{m}$	\triangle $\ell \times (-2\%)$
						厚 さ t	● -50	
						延 長 L	$\triangle -200$	

●：出来形管理図表を作成する。

\triangle ：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。</p> 	<p>7-1-5-5</p>	
<p>ブロック個数 40 個につき 1ヶ所の割で測定。基準高、延長は施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。</p> 	<p>7-1-5-6</p>	
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。 「3 次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。</p> 	<p>7-1-6-4</p>	

出来形管理基準及び規格値 第7編 河川海岸編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	6 護岸 工	5		コンクリート被覆工	基準高 ∇	● ± 50	
						法長 l	$l < 3m$	$\triangle - 50$
							$l \geq 3m$	$\triangle - 100$
						厚さ t	$t < 100$	● $- 20$
							$t \geq 100$	● $- 30$
						裏込材厚 t'	● $- 50$	
						延長 L	$\triangle - 200$	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	8 天端被 覆工	2		コンクリート被覆工	基準高 ∇	● ± 50	
						幅 w	$\triangle - 50$	
						厚 さ t	● $- 10$	
						基礎厚 t'	● $- 45$	
						延長 L	$\triangle - 200$	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	9 波返 工	3		波返工	基準高 ∇	● ± 50	
						幅 w_1, w_2	● $- 30$	
						高さ $h < 3m$ h_1, h_2, h_3	● $\triangle - 50$	
						高さ $h \geq 3m$ h_1, h_2, h_3	● $\triangle - 100$	
						延長 L	$\triangle - 200$	

●：出来形管理図表を作成する。

\triangle ：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。 「3 次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。</p>		7-1-6-5
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。</p>		7-1-8-2
<p>施工延長 40m (測点間隔 25m の場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。</p>		7-1-9-3

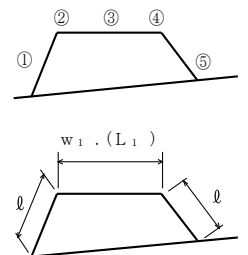
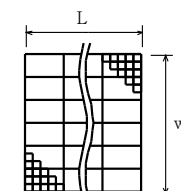
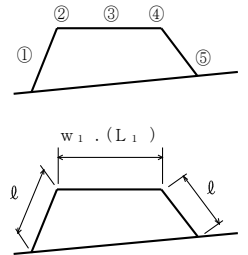
出来形管理基準及び規格値 第7編 河川海岸編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
7 河川 海岸 編	2 突堤 ・ 人工 岬	4 突堤 基礎 工	4		捨石工	本 均 し	●△±50		
						基 準	表 面 均 し	±100	
						高	荒 均 し	異形ブロック据付面 (乱積) の高さ	±500
							均 し	異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高さ	±300
						▽	被 覆 均 し	異形ブロック据付面 (乱積) の高さ	±500
							均 し	異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高さ	±300
						法 長 l	●-100		
						天 端 幅 w_1	●△-100		
天 端 延 長 L_1	△-200								
7 河川 海岸 編	2 突堤 ・ 人工 岬	4 突堤 基礎 工	5		吸出し防止工	幅 w	△-300		
						延 長 L	△-500		
7 河川 海岸 編	2 突堤 ・ 人工 岬	5 突堤 本 体 工	2		捨石工	基 準	異形ブロック据付面 (乱積) の高さ	●±500	
						高	異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高さ	●±300	
						▽	法 長 l	△-100	
							天 端 幅 w_1	△-100	
							天 端 延 長 L_1	△-200	

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。</p> 	<p>7-2-4-4</p>	<p>幅は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所、延長はセンターライン及び表裏法肩。</p>
<p>施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。</p> 	<p>7-2-4-5</p>	<p>施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。</p> 
<p>幅は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所、延長はセンターライン及び表裏法肩。</p>	<p>7-2-5-2</p>	

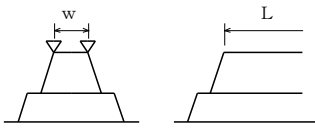
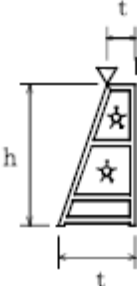
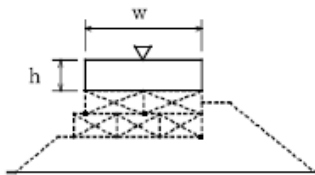
出来形管理基準及び規格値 第7編 河川海岸編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	
7 河川 海岸 編	2 突堤 ・ 人工 岬	5 突堤 本 体 工	5		海岸コンクリートブ ロック工	(層積) ブロック 規格 26 t 未満	● ±300	
						(層積) ブロック 規格 26 t 以上	● ±500	
						(乱 積)	±ブロックの 高さの 1/2	
						天 端 幅 w	△ -ブロックの 高さの 1/2	
						天 端 延 長 L	△ -ブロックの 高さの 1/2	
7 河川 海岸 編	2 突堤 ・ 人工 岬	5 突堤 本 体 工	9		石枠工	基 準 高 ▽	● ±50	
						厚 さ t	△ -50	
						高 さ h	h < 3m	● △ -50
							h ≥ 3m	● △ -100
						延 長 L	△ -200	
7 河川 海岸 編	2 突堤 ・ 人工 岬	5 突堤 本 体 工	10		場所打コンクリート工	基 準 高 ▽	● ±30	
						幅 w	● △ -30	
						高 さ h	● △ -30	
						延 長 L	△ -200	

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
		7-2-5-5 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。延長は、センターラインで行う。
		7-2-5-9 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。 1 施工箇所毎
		7-2-5-10 施工延長 40m (測点間隔 25mの場合は 50m) につき 1ヶ所、延長 40m (又は 50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。

出来形管理基準及び規格値 第7編 河川海岸編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値		
7 河川 海岸 編	2 突堤 ・ 人工 岬	5 突堤 本 体 工	11	1	ケーソン工 (ケーソン工製作)	バラ スト の 基 準 高 ▽	砕石、砂	●±100	
							コンクリート	●±50	
						壁 厚	t_1	●±10	
						幅	w	●+30、-10	
						高 さ	h_1	●+30、-10	
						長 さ	L	●+30、-10	
						底版厚さ	t_2	●+30、-10	
						フーチング高さ	h_2	●+30、-10	
7 河川 海岸 編	2 突堤 ・ 人工 岬	5 突堤 本 体 工	11	2	ケーソン工 (ケーソン工据付)	法線に対する出入 1、2	ケーソン重量 2000 t 未満 ●±100 ケーソン重量 2000 t 以上 ●±150		
						据付目地間隔 1'、2'	ケーソン重量 2000 t 未満 ●100 以下 ケーソン重量 2000 t 以上 ●200 以下		
						陸 上	●±30		
						水 中	●±50		
7 河川 海岸 編	2 突堤 ・ 人工 岬	5 突堤 本 体 工	11	3	ケーソン工 (突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブ ロック	基 準 高 ▽	厚 さ	t	△±30
							幅	w	△±30
							長 さ	L	±30

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
各室中央部 1ヶ所		7-2-5-11	
底版完成時、各壁 1ヶ所			
各層完成時に中央部及び底版と天端は 両端 完成時、四隅			
各層完成時に中央部及び底版と天端は 両端 底版完成時、各室中央部 1ヶ所			
底版完成時、四隅			
据付完了後、両端 2ヶ所			7-2-5-11
据付完了後、天端 2ヶ所			
1室につき 1ヶ所 (中心)		7-2-5-11	

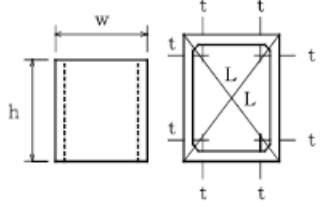
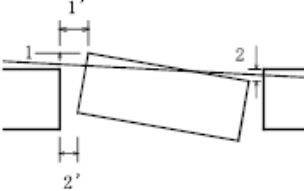
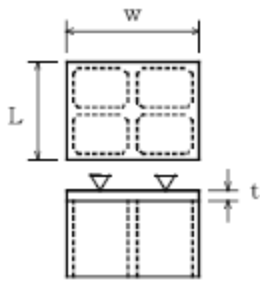
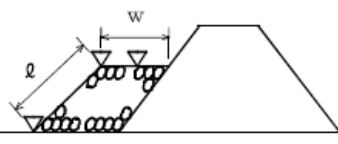
出来形管理基準及び規格値 第7編 河川海岸編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値
7 河川 海岸 編	2 突堤 ・ 人工 岬	5 突堤 本 体 工	12	1	セルラー工 (セルラー工製作)	壁 厚 t	●±10
						幅 w	●+20、-10
						高 さ h	●+20、-10
						長 さ L	●+20、-10
7 河川 海岸 編	2 突堤 ・ 人工 岬	5 突堤 本 体 工	12	2	セルラー工 (セルラー工据付)	法線に対する 出入 1、2	△±50
						隣接ブロックと の間隔 1'、2'	●50 以下
7 河川 海岸 編	2 突堤 ・ 人工 岬	5 突堤 本 体 工	12	3	セルラー工 (突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブ ロック	基準 高 ▽	陸 上 ●±30
							水 中 ●±50
						厚 さ t	△±30
						幅 w	△±30
						長 さ L	±30
7 河川 海岸 編	2 突堤 ・ 人工 岬	6 根 固 め 工	2		捨石工	基準 高 ▽	異形ブロック据付面 (乱積) の高さ ●±500
							異形ブロック据付面 (乱積) 以外の高 さ ●±300
						法 長 ℓ	△-100
						天 端 幅 w	△-100
						天 端 延 長 L	△-200

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
型枠取外し後全数		7-2-5-12
据付後ブロック1個に2ヶ所(各段毎)		7-2-5-12
1室につき1ヶ所(中心)		7-2-5-12
施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。		7-2-6-2
幅は施工延長40m(測点間隔25mの場合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所、延長はセンターライン及び表裏法肩。		

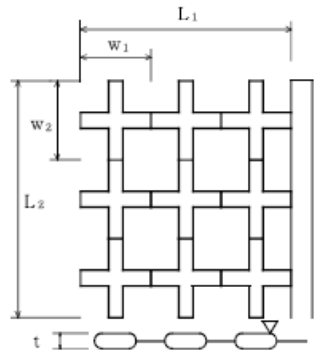
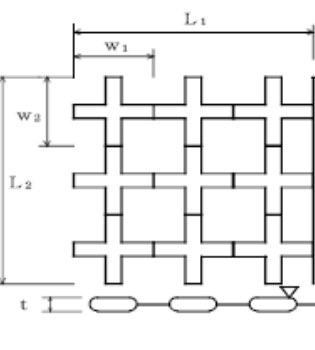
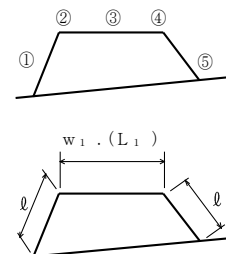
出来形管理基準及び規格値 第7編 河川海岸編

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	6 根固め 工	3		根固めブロック工	基準高 ▽	層 積	●±300	
							乱 積	●±t/2	
						厚 さ t		-20	
						幅 w ₁ w ₂	層 積	-20	
							乱 積	-t/2	
						延長 L ₁ L ₂	層 積	△-200	
乱 積	△-t/2								
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	7 消波工	3		消波ブロック工	基準高 ▽	層 積	●±300	
							乱 積	●±t/2	
						厚 さ t		-20	
						幅 w ₁ , w ₂		-20	
						延長 L ₁ , L ₂		△-200	
7 河川 海岸 編	3 海域堤防（人工リフ、離岸堤、潜堤）	3 海域堤基礎工	3		捨石工	基 準 高 ▽	本 均 し		●△±50
							荒 均 し	異形ブロック据付面（乱積）の高さ	±500
						異形ブロック据付面（乱積）以外の高さ		±300	
						被 覆 均 し	異形ブロック据付面（乱積）の高さ	±500	
							異形ブロック据付面（乱積）以外の高さ	±300	
						法 長 ℓ		●-100	
						天 端 幅 w ₁		●△-100	
						天 端 延 長 L ₁		●-200	

●：出来形管理図表を作成する。

△：設計図等を使用し設計寸法と比較対照出来るように整理

単位：mm

測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1ヶ所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。</p> <p>幅、厚さは 40 個につき 1ヶ所測定。</p> <p>1 施工箇所毎</p>		7-2-6-3
<p>施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1ヶ所。延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。</p> <p>幅、厚さは 40 個につき 1ヶ所測定。</p>		7-2-7-3
<p>施工延長 10mにつき、1 測点当たり 5 点以上測定。</p> <p>幅は施工延長 40m（測点間隔 25mの場合は 50m）につき 1ヶ所、延長 40m（又は 50m）以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所、延長はセンターライン及び表裏法肩。</p>		7-3-3-3